

土木用エポキシ接着剤 TボンドSS

特殊エポキシ樹脂採用により、高強度で収縮の少ない接着剤

特殊エポキシ樹脂により、ウレタン素材との接着性を高めた、高強度で収縮の少ない接着剤です。主に、ガイドポスト、道路鉄、駐車場の車止めの接着などに最適です。



優れた 耐久性・寸法安定性

耐水性、耐油性、耐衝撃性に優れ、硬化収縮が少なく、寸法安定性に優れています。

優れた 接着力

ウレタン、コンクリート、アスファルト、金属等への接着性に優れているためポスト、タイヤ止めブロック、道路鉄等の接着に便利です。

手間いらず 作業が簡単

主剤、硬化剤が計量されたセットのため、計量手間がかからず、配合ミスを防止します。

【性状】

項目	TボンドSS 主剤	TボンドSS 硬化剤
組成	エポキシ樹脂系	ポリアミン樹脂系
外観	白色ペースト状	黒色ペースト状

【可使・硬化時間】

温度(℃)	5℃	10℃	20℃	30℃
可使時間	70分	60分	40分	25分
硬化時間	20時間	14時間	7時間	4時間

荷姿

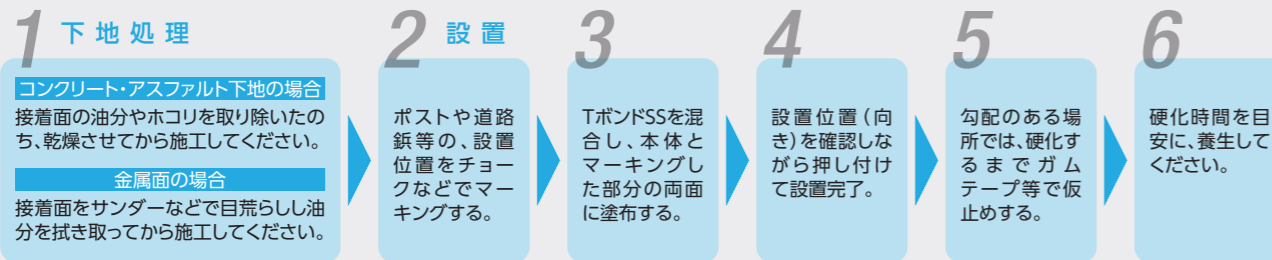
・チューブタイプ
主剤:硬化剤/0.5kg:0.5kg

・丸缶タイプ
1kgセット主剤:硬化剤/0.5kg:0.5kg
3kgセット主剤:硬化剤/1.5kg:1.5kg

使用方法 TボンドSSは、主剤、硬化剤の2液タイプですので使用時に、主剤と硬化剤を重量比1:1の割合で混ぜ合わせてご使用ください

混合方法 チューブタイプの場合パテ板などに、主剤、硬化剤をそれぞれ同量取り出し、均一になるまで練り合わせてください。主剤、硬化剤を混ぜ合わせますと硬化を始めますので、上の表を参考に可使時間以内に、使い切ってください。丸缶タイプの場合、丸缶(主剤)にアルミパックに入った硬化剤を良く絞り入れ、均一になるまで攪拌してください。*気温が30℃を超える高温条件下では接着剤の温度が上がり硬化までの時間が極端に短くなる場合があります

【施工手順】



- 【使用上の注意】**
- 雨天時や樹脂の硬化時間内に降雨が予想される場合は、施工しないでください
 - 5℃以下では硬化しませんので、施工は避けてください
 - 15℃を下回りますと、樹脂の粘度が上がります。主剤、硬化剤の混合が困難になりますので、樹脂を予め暖めて粘度を下げてから攪拌すると効果的です
 - 新設のコンクリートに施工する場合は、コンクリート打設後、2週間以上の養生が必要です

詳しくはホームページをご覧ください▶▶▶▶▶
※機種により読み取れない場合がございます



超速硬化型接着剤

Tボンド M

超速硬化

超速硬化タイプで20分~30分(常温時)で硬化します。

寒冷地に最適

0℃でも硬化し、寒冷地や急ぎの現場に最適です。

【性状】

項目	主剤	硬化剤(BPO-50)	試験方法
外観	淡黄色液体	白色粉体	目視
粘度(mPa·s)	2600±500	-(粉体)	B型粘度計(20℃)
比重	1.02±0.02	-	比重カップ法(20℃)
硬化時間(分)	30±5		20℃ (硬化剤2%添加時)

※数値は測定値であり規格値ではありません

【硬化剤の添加量と硬化時間】

施工面の温度	添加量(1セットあたり)	硬化時間
20℃	2%(10g:1袋)	約27分
10℃	4%(20g:2袋)	約28分
5℃	6%(30g:3袋)	約29分
0℃	6%(30g:3袋)	約47分

荷姿(1.52kgセット)



配合

主剤に規定量の硬化剤を添加し、よく攪拌します。攪拌した混合樹脂液に骨材を混合し、よく攪拌し速やかに施工面に塗布します

【使用上の注意】

- 取り扱い時には、保護眼鏡、保護手袋を着用し、換気、火気に注意してください
- TボンドMは危険物ですので取り扱いには十分に注意してください
(主剤:危険物第4類・第1石油類・危険等級II 硬化剤:危険物第5類・第2種自己反応性物質・有機過酸化物質・含有物・危険等級II)

詳しくはホームページをご覧ください▶▶▶▶▶
※機種により読み取れない場合がございます

